

用語集

用語集

	用語	解説
あ	アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）	誰もが潜在的に持っている思い込みのこと。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳に記憶され、既成概念、固定観念となっていく。
う	ウォーカブルな空間	「歩く」の“walk”と「～できる」の“able”を組み合わせて作られた造語で、「居心地が良く、歩きたくなる空間」を形成すること。
か	開港5港	安政5（1858）年に締結されたアメリカなど五カ国との修好通商条約で開港することが定められた神奈川（横浜）、箱館（函館）、長崎、兵庫（神戸）、新潟の5つの港のこと。
く	区自治協議会	市民自治の推進を図るために、区民等と市をつなぐ「協働の要」として平成19（2007）年度に各区に設置された市長の附属機関のこと。
こ	高次都市機能	商業・業務、教育、文化、交流、医療、福祉などの都市機能のうち、より広域の人々を対象として、質の高いサービスを提供する機能のこと。
	交通結節点	バスのほか、電車やタクシー、自動車、自転車など様々な交通手段の接続が行われる乗り換え拠点のこと。
	交流人口	観光目的やビジネス目的などでその地域を訪れる人々のこと。
	コミュニティ	人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域及びその人々の集団。地域社会。共同体。
	コミュニティ・スクール	学校運営協議会を設置した学校のこと。学校運営協議会を通して、保護者や地域住民等が一定の責任と権限のもと学校運営に参画し、一体となってよりよい教育の実現に向けて連携、協働するもの。
し	自主防災組織	地域住民が「自分たちのまちは自分たちで守る」という共助の精神に基づき、地域の防災活動のために自主的に結成された組織のこと。
	循環型生涯学習	自ら学んだ成果を地域で生かし、学びを継承していくことで、新たなつながりを広げ、地域課題の解決や地域の活性化を推し進める人材の育成（活動の場の支援）を進めること。
	食と花の銘産品	新潟市が指定する、自信を持って全国に誇る自慢の農畜水産物のこと。
ち	地域コミュニティ協議会	市民と市が協働して、地域のまちづくりやその他の諸課題に取り組み市民自治の推進を図るため、おおむね小学校区を基本単位として、自治会・町内会を中心に様々な団体等で構成された組織のこと。
	地域と学校パートナーシップ事業	地域教育コーディネーターを学校に配置し、学校と社会教育施設や地域活動を結ぶネットワークを形成する事業のこと。
に	にいがた2km	新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ約2kmの都心軸周辺エリアの呼称のこと。
ま	まちなか	まちの中で中心的機能を有する範囲。地域拠点、商業系地域を中心とした旧来からの中心的地区。
も	モビリティ・マネジメント	一人一人の移動手段の自発的な変化を促すためのコミュニケーションを中心とした交通施策のこと。
や	やさしい日本語	日本語を母語としない人などにも伝わるように、難しい言葉や表現を調整したわかりやすい日本語のこと。

	用語	解説
ゆ	ユニバーサルデザイン	障がいの有無や年齢などによらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のこと。
ら	ラムサール条約	正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。締約国には各湿地の管理計画の作成・実施、各条約湿地のモニタリング、湿地の保全に関する自然保護区の設定、湿地の保全管理に関する普及啓発・調査などが求められる。
英字	AI	Artificial Intelligence（人工知能）の略。知的な行為を、人工的に作られた知能で可能にする技術のこと。
	APEC	Asia-Pacific Economic Cooperation（アジア太平洋経済協力）の略。アジア太平洋地域の21の国と地域が参加する経済協力の枠組みであり、当該地域の持続可能な成長と繁栄に向け、貿易・投資の自由化・円滑化や地域経済統合の推進、経済・技術協力等の活動を行っている。
	DX	Digital Transformationの略。データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルの変革や、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革すること。
	G7	日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダの7か国及び欧州連合の首脳が参加して毎年開催される国際会議のこと。
	G8	G7にロシアを加えた枠組みでの国際会議のこと。
	G20	G7に参加する7か国に、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、中国、インド、インドネシア、メキシコ、韓国、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ、欧州連合を加えた20か国・地域の首脳が参加して毎年開催される国際会議のこと。
	ICT	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。IT（Information Technology（情報技術））に「Communication」を加え、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現で、国際的にはITよりも一般的となっている。
	IoT	Internet of Thingsの略。様々なものがインターネットにつながることで、離れたところにあるモノの状態を把握して操作したり、サービスを利用したりできること。
	SDGs	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。よりよい社会の実現を目指す2030年までの世界共通の目標で、2015年の「国連持続可能な開発サミット」において193の加盟国の全会一致により採択された。将来世代のことを考えた持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されている。
	5G	第5世代移動通信システム（5th Generation）のこと。高速・大容量、超低遅延、多数同時接続が可能な移動体無線通信システム。